

## 活動報告

団体名	逢桜の里
活動名	被災した県民のための里づくり・居場所づくり
活動期間	2017年3月～2017年9月
活動の成果	<p>《活動を通じて気づいたこと、感じたこと》</p> <p>里づくり活動を通し「何故、今里づくりが必要なのか」というテーマで多くの方々に情報発信をしてきました。</p> <p>講習会、集いの場を開催し参加者との対話を通して気づいたことは、皆これからの社会がどのように変革していくか？今現実に行っている社会課題に気づかれていない。という現実でした。</p> <p>これから10年後、20年後に直面する社会課題（介護保険崩壊、子どもの貧困増）と被災した私たちがどう向き合っていくのかを可視化することにより参画、賛同されました。</p> <p>《活動の成果》</p> <p>里づくりの活動を続けることにより様々な機関から問い合わせ、視察などがあり、逢桜の里としての活動が拡げられました。</p> <p>活動前において限られていたマンパワー、活動計画が、ネットワークを通して向上したことは当初の活動予定より飛躍したきっかけとなりました。活動の成果、継続に繋がったと思います。</p> <p>《活動の課題》</p> <p>活動を拡げていくうえで行政・校区・自治体ごとの温度差を感じます。活動が周知されたとはいえ、まだまだ情報提供不足は否めません。</p> <p>今後も課題をクリアしていきながら活動支援の輪を拡げていきたいと思いません。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>第3次「ボラサポ・九州」の助成を頂き、被災した熊本市内で子ども食堂・地域食堂をしている逢桜の里（あいらのさと）、よかあんばいJAPAN、子どもキッチンブルービー3団体で活動いたしました。</p> <p>私たちは熊本の各校区に一か所「里（地域の大人が出来ること、子どもが出来ることをみんなで互助し合う居心地の良い場所）」を作って、安心できる居心地の良い地域づくりを目指しています。</p> <p>みなさまの赤い羽根「ボラサポ・九州」を通しての募金・思いのお陰で、行政では手の届きにくい社会課題解決に対しての活動を行うことが出来ましたこと、感謝申し上げます。</p> <p>今日の日本では、様々な社会課題・地域課題が起きています。</p> <p>直面したことのない困りごとがこれから想定される中、それぞれの思いを持った団体が社会奉仕と社会貢献に取り組めるようこれからも引き続き皆様の応援を切に願います。</p> <p>逢桜の里へのご支援ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

